



## 目次

### 1. ロードキル防止技術に関する研究背景

1.1 研究背景	1
1.2 全国の道路におけるロードキル発生の現状把握	4
1.3 ロードキル防止技術の現状と課題	5
1.4 本研究報告書の構成	6

### 2. ロードキル防止へのアプローチ

2.1 動物の生態調査とロードキル防止技術との関係	7
2.2 ロードキル発生のメカニズム	8
2.3 動物の生態調査の必要性	9
2.4 ロードキル防止技術の体系づくり	11
2.4.1 ロードキル防止技術の体系づくり	11
2.4.2 ロードキル防止技術の検討フローチャート	12

### 3. 道路内への進入防止技術

3.1 動物の道路進入防止技術に関わる事例	14
3.2 動物の進入防止技術の研究	29
3.2.1 概要	29
3.2.2 ラジオテレメトリーを用いたタヌキの行動圏調査	30
3.2.3 タヌキの進入防止柵登はん実験	35
3.3 ロードキル防止効果の高い進入防止柵等のとりまとめ	40
3.3.1 概要	40
3.3.2 新設道路における進入防止柵等の位置・構造	42
3.3.3 既設道路における進入防止柵等の位置・構造	48

### 4. 動物生息域分断防止技術

4.1 動物の横断施設に関わる事例	50
4.2 道路横断施設における動物の利用実態調査・分析	63
4.2.1 概要	63
4.2.2 宮崎自動車道における道路横断施設利用調査	64
4.2.3 道路横断施設の動物利用調査結果	67
4.2.4 道路横断施設の動物利用調査結果の考察	71
4.2.5 常磐自動車道における道路横断施設利用調査	73
4.3 動物の生息域分断防止技術のとりまとめ	82
4.3.1 道路の横断施設等の検討	82
4.3.2 その他の動物誘導効果の高い対策	86
4.3.3 モニタリングの実施と対策の改善	87

5. ロードキル防止技術の適用性	
5.1 ケーススタディの目的	88
5.2 ケーススタディにおけるロードキル防止技術の適用性	89
6. 今後の課題	102
参考文献	103